

学校教育目標	7年度重点目標		成果と課題	改善策・向上策	
<p>日本国憲法に基づき心身の調和的発達を図るとともに、将来社会の発展と文化の創造に、寄与できる人間を育成する。</p>	<p>1 一人ひとりの進路実現に向け、学力の定着と主体的、探究的な学習のための授業改善をはかる。</p>		<p>各教科で、単元ごとのテストを行ったり、授業の振り返りシートを利用して自身の学習に目を向けさせる取り組みを行っている。教科間での意識共有を図り、今後の取り組みにつなげていきたい。</p>	<p>教科間の情報共有を密にし、生徒の希望を適切に把握し、生徒が適切な進路選択をできるように支援をしていく。</p>	
<p>重点目標（中長期的）</p>	<p>2 生徒の自主活動や自律活動を支援し、生徒会活動・HR活動を通して充実した学校生活を送ることができるようになる。</p>		<p>生徒会長を中心に役員全員で学校行事を立案・運営することができた。また、委員一人一人が自らの役割を自覚して委員会活動を支えることができた。</p>	<p>役員や委員間での意見交換を密にするなど、新たな活動のアイデアが出せるような場の工夫をしていきたい。</p>	
<p>地域から信頼される学校 生徒の進路を保証する学校 全人的発達を促す学校</p>	<p>3 豊かな人間性、生きる力を育てると共に、いじめや体罰のない安心安全な環境を確立する。</p>		<p>問題を抱える生徒に対し、相談体制を整え、対応するとともに、全校での学習会や教員研修会等を行い、支援生徒に対する理解が深まってきた。</p>	<p>SSTなどを計画的に位置づけ、授業やHR活動などにおいて実践の場を設けて人権意識を啓蒙していくとともに、教職員の研修なども充実させていく。</p>	
	<p>4 家庭・地域・社会との連携を強化し、地域の活性化に貢献していく。</p>		<p>「総合的な探究の時間」や「インターンシップ」「ボランティア班・軽音楽班の活動」など地域との連携を強化し活動の幅を広げている。継続的な活動として体制を整えていきたい。</p>	<p>地域の方々との活動を充実させていくとともに、地域連携に係る組織作り定着し、地域探求活動やインターンシップなど連携を強化していきたい。</p>	
<p>教育活動</p>	7年度重点目標	評価項目	評価の観点	成果と課題	改善策・向上策
	<p>1 一人ひとりの進路実現に向け、学力の定着と主体的、探究的な学習のための授業改善をはかる。</p>	<p>高校3年間を見通した進路指導の構築、各生徒が希望する進路の実現</p>	<p>進路実現に向けた、各年次における段階的な進路指導計画を、生徒の実情をふまえて適切に立案し実行できたか。</p>	<p>生徒が希望する進路を選択できた。また、総探の時間などの取り組みを活かし、社会の中での自己の在り方について主体的に考えることができた。</p>	<p>ひきつづき、関係各所と連携しながら生徒の希望を適切に把握し、生徒が適切な進路選択をできるように支援していく。</p>
		<p>生徒の学習意欲・学力向上につながる教育課程および授業づくりに向けた取り組み</p>	<p>生徒の進路希望を実現するために、学習意欲・学力向上に関わる取り組みができたか。</p>	<p>教育課程および授業づくりについて、計画通り実施し、生徒にとってより良い教育課程の検討及び、授業改善のための取り組みができた。</p>	<p>各授業や教育課程について、今後も生徒の状況や学校のあり方に合わせて研究・検討・研修を行っていく必要がある。</p>
<p>2 生徒の自主活動や自律活動を支援し、生徒会活動・HR活動を通して充実した学校生活を送ることができるようになる。</p>	<p>生徒主体の活動の推進および、多様な他者との協働による活動の充実</p>	<p>生徒会企画の行事および日常の委員会活動に生徒が主体的に参加し、生徒同士の協働を通して、学校生活に積極的に関わろうとすることができたか。</p>	<p>生徒会長を中心に校歌練習やあいさつ運動などを計画し、文化祭でも生徒会を盛り上げた。また、日々の委員会活動の当番活動には、きちんと参加し役割を果たした。</p>	<p>過去の活動を参考に改善策を検討し計画を立て進めることができたが、新たな活動のアイデアが浮かばず、助言を要する場面もあった。生徒間の意見を出し合える場を工夫していきたい。</p>	
<p>学校運営</p>	<p>3 豊かな人間性、生きる力を育てると共に、いじめや体罰のない安心安全な環境を確立する。</p>	<p>人権の意義・内容や重要性について理解し、人権が尊重される社会づくりにむけて行動できる姿勢の育成</p>	<p>人権問題について諸資料を活用しながら多角的に考えさせ、人権意識を向上させる指導ができたか。</p>	<p>12月にLGBTQと性自認の課題について全校で学習した。HRでの学習、映画鑑賞、振り返り学習を実施し、理解を深める機会となった。</p>	<p>いじめや差別のない安心安心の学校づくりにむけて、日々の生徒指導・支援のあらゆる場面で人権尊重について指導していくことが重要である。</p>
		<p>一人ひとりの生徒に寄り添った相談活動、支援体制の充実、外部機関との連携の推進</p>	<p>いじめ・不登校など悩みや問題を抱える生徒に対し、担任や生徒支援係、カウンセラーなどが連携を図り、問題の改善に向けた支援ができたか。</p>	<p>生徒個々の実情に応じて、SC、SSW、児相などと連携しきめ細かい支援を行った。個々の生徒に対する支援会議を行い、学校全体で情報を共有し具体的な支援につなげた。</p>	<p>生徒相談、特別支援の対象となる生徒は年々増加している。SC、SSW、上田養護巡回相談などの外部支援を得ながら、より一層の教員全体の協力と協働を推進したい。</p>
<p>4 家庭・地域・社会との連携を強化し、地域の活性化に貢献していく。</p>	<p>PTA活動の充実</p>	<p>保護者・教職員の連携のもとに、PTAの諸事業を円滑に実施し、地域活性化に貢献することができたか。</p>	<p>年度当初の総会でさらに活動のスリム化を図った。全員が参加する行事が実施されなかったため、次年度は実施したいとの声が上がっている。</p>	<p>活動をスリム化し役員の負担軽減につなげることができたが、次年度以降はPTAと生徒が交流できる機会を設けられるようにしたい。</p>	
	<p>生徒募集や校内活動の外部に向けた発信の充実</p>	<p>学校の様子をホームページ等で情報提供できたか。また、地元の小・中学校へPR活動ができたか。</p>	<p>HPを通して情報提供の充実を努めた。7・8月に南佐久地域の中学校を中心に訪問し、PRを行なった。10月には中学生や地域に向けて授業公開も行なった。</p>	<p>次年度以降もHPやプレスリリースを中心に外部への情報発信を重ねるとともに、体験入学や授業公開の内容の充実を図る。また在校生が出身中学で講演する機会も増やしたい。</p>	
	<p>地域を活用した学習の実施</p>	<p>地域を知ることで地域に愛着を持ち、地域活動への積極的参加を通して進路選択の幅を広げるための指導ができたか。</p>	<p>地域の協力を得て、地域調べや就業体験などを計画通りに実施し、生徒の職業観の形成に寄与することができた。</p>	<p>引き続き、地域について学習をする機会を充実させるとともに、生徒が将来の進路選択に結びつけられるよう、事後指導の工夫を進める。</p>	